

例会日:毎週金曜日
 例会場:碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866
 FAX:0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

第3000回記念例会

2019年6月7日(金) 伊那食品工業(株)訪問

司会者:東 隆将君



2018-2019年度RIテーマ:
 「インスピレーションになろう」

安城ロータリークラブ会長方針:

「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」

- 会長:横山 真喜男
- 幹事:杉山 淳一
- クラブ会報:小林喜司男・服部敦・丸山光夫
- 創立日:S33年1月10日
- RI加盟認証日:S33年2月6日

■ 幹事報告

杉山 淳一 幹事

1. 6/12(水)11:30～鯛常分店にて、記者懇談会を行います。
2. 6/14(金)11:30～次年度理事会、例会終了後本年度理事会、18:00～川本にて歴代会長会議を開催いたします。

◆ 卓話

卓話者 塚越 寛様 伊那食品工業(株) 最高顧問

早いもので、当社も60年の歴史を刻むことができました。まず私がこの会社に来たいきさつからお話をします。私は若いとき3年間闘病生活をしました。そして病気が治ったときに、どこでもいいから使ってくれとって、勤めたのが駒ヶ根市にある製材会社でした。そこで私は一生懸命働きました。3年間の闘病生活は長かったです。早く働きたい、早く治りたい、治らないかもしれないという不安を抱えながら闘病生活をしてきました。窓の外を歩いている普通の人を見て羨ましかった。歩いていることが、羨ましかった。だから、ましてや働けるなんてことは、この上ない幸せですから、とにかくその会社のためになるように働いて知恵を出そうと思ってやっていたところが、認められてこの会社に派遣されました。それが若干21歳でしたが、それからほとんどのことをやってきました。会社の方針、設備投資、全部やってまいりました。それで60年経ちました。私の年輪経営という本を読んだということで、豊田章男さんと私との対談が実現しました。トヨタさんは年輪経営をひとつの経営方針になさったようであります。なんだかんだで、この田舎もんが言っている年輪経営というものがまんざらでもないと評価されました。要は不景気に関係なく、どんな年も右肩上がりでないんじゃないかということです。景気のいいときだけ一んと伸ばして、悪くなったらど〜んと落ちて、その時にリストラするということないってはいけません。一度だけ、かんてんブームの時に異常に伸びて3年間売り上げが落ちました。急に伸びた後に下がって、下がったところが、その伸びていた時の延長線上にきていました。それからまた、ず〜っと右肩上がりできましたので、まあいいかたちだと思っております。ブームってのは恐ろしいと思いました。そのあとは必ず落ちる。景気に頼ったり、ブームにのってはいけません。ゆっくりな右肩上がりというのは経営が非常に楽です。後はどうせ少しずつ上がるんだから、事前に土地を用意するとか、設備投資をしても大丈夫とか、迷うことがない。必ず人も増えるから人も多めに採用できます。数字というのは大事ですが、当社に目標数字はありません。売り上げ目標、利益目標、一切ありません。数字というのは結果ですから、それをどんなにひねくりまわしたってしょうがない。それよりも出来る範囲の努力をしようということをやっています。私自身も、お金が幸せであると思っていません。お金はいらないとは言わないけど、お金を貯めようとか、巨額の財産を築こうとか一切そういうものには感心がありません。そういうのは社員にも伝わり、そうすると社員もみんなのために働いてくれるようになる。それから、家も会社も別にしないでいいと社員に言っている。会社は人生じゃなくて、家庭だけが人生だと思っている人がいるけれど、これは間違いだと思います。家庭も人生、通勤時間も人生、ましてや、会社も人生です。全部が楽しくって、快適じゃなければ、人生は半分になってしまいます。だから、会社も快適にして楽しくしなければいけません。会社も人生の一部だから快適



に楽し

くしよう。そして、みんなでそのために稼ごうということです。社長の財産を増やすためなんて、それは誰もやりません。みんなでいい会社作って、みんなで、たった一度の人生を快適にしよう。これが教育の基本になっています。社員を大事にするということで、福利厚生はものすごくよくしている。いろいろな手当を出している。営業マンは全国で7箇所ありますが、その営業マンの住宅手当は全部会社持ちです。ですから生活の不安が無いので、一生懸命やってくれます。当社の開発部門は50人働いています。全社で約500人なので、1割が研究開発をしている。食品メーカーで1割を研究開発に割いている会社は非常に少ないと思います。早くから研究開発型企業にならないといけないと思い、そういう組織を作りました。いい経営をするために、社員教育は大事。私も社員教育の基本は稲盛さんのおっしゃっているような、忘己利他を中心に教えています。最澄のことばですが、忘己利他というのは己を忘れ、他人を利するということ、自分のことも大事だけれども、他人を利するようにはしないとイケない。自分のことばかり考えてはいけません。人間が成長したら利他を出来るようにしなくてはイケない、稲盛さんはそういうことを言っている。忘己利他って漢字は「優しい」という字にも通ずる。人をうれえるということ。人を心配してあげる。それが思いやり。そのやさしさに秀でた人が、優秀な人。優秀な会社。利益が高いとかいうのではなくて、思いやりに優れた会社がいい会社。思いやり、やさしさに満ちた会社にはないとイケない。会社の駐車場に入るのに、渋滞しないように右折を禁止している。通りすぎて信号のところまで右折して遠回りして、左折で入るようにしている。地域に迷惑をかけない。自分の会社だけきれいにしてもダメ、進んで公のともきれいにする。地域に尊敬される会社にならないと、ブランドにならない。

